

茶話会・学年試験)

〔法学新報〕第十四卷六(一六〇)号

明治三十七年六月十日

東京法学院大学記事

○高等法学科卒業生 旧東京法学院高等法学科は新学則に依り本年三月限り廃止せらるるを以て年来同科に在りて研究したる諸氏は各専攻科目に就き論文を提出して指導講師の批判を受けしか其中及第したるは鳥居錡次郎氏外二十三名にして過る三月末日を以て菊池学長より夫卒業証書を授与せらるる其研究科目及び氏名左の如し

- 民 法 鳥居錡次郎 国法学 稲田周之助 国法学 工藤武重
- 刑 法 伊藤久次郎 国法学 早速整爾 商 法 榊原周次郎
- 国法学 石井謹吾 民 法 高野金重 刑 法 林頼三郎
- 国際法 齋藤正毅 民 法 高窪喜八郎 国法学 山崎林太郎
- 刑 法 鈴木濟美 民 法 牧野賤雄 国法学 渡邊澄也
- 国際法 川久保源治 民 法 横田維好 国際法 喜多孝治
- 国法学 堀江秀 民 法 鶴田恣 国法学 加瀬禧逸

国際法 横山慶三 国法学 北鬼三郎 民 法 米村富喜

○講談会 去月二十一日午後二時より同大学大講堂に於て開会し第一席法学博士寺尾亨氏「時局に付て」第二席法学士寛克彦氏「国家作用の区別に付て」第三席法学博士志田鉦太郎氏「法律学と他の科学との関係を論ず」第四席法学博士穂積八束氏「帝国憲法に付て」の講演あり聴衆堂に満ち頗る盛会にして其閉会を告げたるは午後六時なりし当日の講演は順次別欄に掲載すへし

○予科茶話会 去月二十七日午前八時半同大学第四講堂に於て開会し廣井講師起て開会の辞を述へ学生田代周三郎氏は出征軍人家族扶助の歌を暗誦し次に早稲田大学講師英人ケート氏登壇して英語学及び文学に關し滑稽を雜へて爽快なる演説あり次に学生外山信義氏は幽霊に襲はれたる面白き談話ありて終にケート氏は当日学生諸氏の英語を批評し各講師の授業其宜しきを得て学生の一般進境に在るを称賛せられ閉会を告げたるは同十一時なりし

○学年試験 専門科本学年の授業は本月十八日を以て終り同二十二日より学年試験を挙行す予科は同二十七日より卒業試験を挙行す